

■流域委員会への意見

町田輝次

20年8月20日（水）に開催されました淀川水系流域委員会運営会議を傍聴させていただきました大阪市在住の町田と申します。

会議の中で、宮本委員長から近畿地方整備局に対し委員会ホームページ継続黙認の要請がなされていましたが私たち多くのボランティア団体は、自らのお金を出し合い、汗をかきながら懸命に社会貢献に取り組んでいるのが実情です。

私が直接かかわっていますNPO法人も、ホームページ運営に年間30万円ほどかかり、大きな負担となっています。

流域委員会も一般市民団体として、意見を述べ政策提言等の市民活動はやる気になれば十分出来るはずです。

つきましては、特定の団体のみにホームページ運営費を負担することは、他で一生懸命に自費活動している市民団体からは到底認められることではありません。

以上のことから、特に昨今の国民の税金使用用途への視線は大変厳しいものがあることから、より一層委員会側も整備局側も考え及び行動に毅然とした立場で対応すべきとの意見をのべさせていただきます。